

会費・募金へのご協力
ありがとうございました

平成 26 年度も多くのご協力をいただき、みなさまのあたたかいお気持ちに心より感謝いたします。これからも地域の信頼を得られる活動を行い、みなさまから寄せられた会費・募金がさらに地域で活かされるよう努力してまいります。

平成 26 年度 港南区社協 世帯賛助会費・特別賛助会費

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 1 月 31 日受付分)

【世帯賛助会費】 3,265,026 円

【特別賛助会費】 225,000 円

◎納入者一覧 (順不同・敬称略)

(株)高森・建設情報サービス(株)・(宗) 福聚院・(宗) 自性院
(有)佐藤組・(有)丸吉商事・(株)あんざい・港南テクニクス(株)
東京ガスエコモ(株)・(株)新世・(株)中萬学院・(宗) 浄念寺
ヨコハマ・ファイブ(株)・小原オートサービス(株)・(株)大山組建材
(株)建設工業調査会・(株)サカエ塗装・(株)染谷商店・(株)ツクイ
(株)プリントン・(株)古屋商店・太平住販(株)・ねもと(有)
(有)飯島測量・(有)石力石材店・(有)共栄商事不動産・(有)粉間組
(有)大輪・(有)中央美工社・ワミレスコスメティックス(株)
(株)南州電設・近代ホーム(株)・(宗) 貞昌院・(有)砂場
(有)宅井装飾・(有)祓月技建

平成 26 年度 赤い羽根共同募金 年末たすけあい募金 (平成 26 年 10 月～)



「赤い羽根共同募金」は、神奈川県共同募金会を通じて平成 27 年度に県内の施設や団体に配分されます。

「年末たすけあい募金」は、港南区社協を通じて申請のあった区内の団体・活動に配分しました。

◆募金実績 (平成 27 年 1 月 31 日現在)
赤い羽根共同募金・・・13,959,442 円
年末たすけあい募金・・・5,884,300 円

◆年末たすけあい配分先

こうなんふれあい助成金 38 団体 1,570,000 円
(福祉活動団体・障害児者団体等の事業・備品購入費)

地区社協活動助成 15 地区 1,590,000 円

地区社協活動助成 (福祉ネットワーク) 14 地区 1,400,000 円

平成 26 年度 日本赤十字社資募集運動 (平成 26 年 5 月～)

日本赤十字社神奈川県支部に送金し、国内外の救援活動や
区内の救急法講習会の開催・罹災世帯への災害見舞金に
あてられます。

【社資】 12,671,274 円

(平成 27 年 1 月 31 日現在)

平成 27 年度こうなんふれあい助成金のお知らせ

区内のボランティア活動や障害児者の福祉活動を支援する
助成制度です。区民の皆さまから寄せられた共同募金等を
財源としています。

主に初めて助成金を申し込まれるグループや団体を対象とした
説明会を開催します。申込不要です。

■日時 平成 27 年 3 月 10 日 (火) 13:30～14:30

■会場 港南区社会福祉協議会にて

※説明会に参加しなくても助成金の申込みはできます

■受付期間 平成 27 年 4 月 6 日 (月)～24 日 (金)

■受付時間 月～金 10:00～16:00

■申 込 み 港南区社会福祉協議会 窓口持参
※郵送による申込は不可



高機能
杖先ゴム

ラクーン

広告

●お試しください！業界初！交換用杖先ゴム！

●杖のコツコツ感がありません。

●面で着地する為、ゴムの片減りを軽減します。

価 格

※構造上、木製杖には装着出来ません。

φ16 mm 用 1,980 円 (税別)

φ19 mm 用 2,380 円 (税別)

お問合せ ☎0120-062-846

内部構造▶

OMNICS 株式会社 オムニクス

〒234-0056 横浜市港南区野庭町 332-4-101

平成 26 年度横浜市認定

特許第 5656175 号

社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会 (港南区ボランティアセンター)

〒233-0003 港南区港南 4-2-8 3 階 (そよかぜの家 3 階)

TEL: 045-841-0256 FAX: 045-846-4117

URL: <http://www.kounan-shakyo.jp/>

E-mail: toiawase@kounan-shakyo.jp

港南区社会福祉協議会広報委員

小林 伸 山田真喜子 清水喜代美 塩澤うめの
土山由己 笠原加代子 平野静代 加藤正一

編集後記

認知症は誰もが絶対に成らないと言い切れない病です。元気な方は認知症を理解して
あげ、認知症になった方が安心して暮らせる街にしたいですね。なんといっても予防
が第一！脳も体も健康に保つように規則正しい生活が何よりとのことです。(H.K)

○この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金により作成しています。

○港南区社会福祉協議会では、事業計画・報告並びに収支予算・決算についてホームページに掲載しております。また冊子をご希望の方は事務局までご連絡ください。

○「社協だよりこうなん」音声訳版 (テープ・CD) もボランティアグループ「港南音訳ボランティアいとはんわ」の協力により作成しています。

ご希望の方は港南区社会福祉協議会までご連絡ください。



こうなん 69

社協だより

ボランティアセンター通信合併号

■発行 / 社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会 ■発行責任者 / 長 信男 ■発行日 / 平成 27 年 3 月

“もの忘れ” “老化”... 認知症！？

認知症は、誰もがかかる可能性のある脳の病気です。
85 歳以上になると 4 人に 1 人がかかるといわれています。
“単なるもの忘れ” “気分の落ち込み” “病気治療の
ために飲んでいる薬による影響” などでも間違えやすい
症状がみられることがあります。

日常の暮らしの中で、「もしかしたら認知症のはじまり
ではないか？」といった早期発見の“めやす”を紹介し
ます。

～見逃していませんか？ こんなサイン～

☑ もの忘れがひどい

- すぐに電話の相手の名前を忘れる
- 同じことを何度も言う・問う・する
- しまい忘れ置き忘れが増える

☑ 判断・理解力が衰える

- 新しいことが覚えられない
- 話のつじつまが合わない
- テレビ番組の内容が理解できなくなった

☑ 時間・場所が分からない

- 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 慣れた道でも迷うことがある



☑ 人柄が変わる

- 些細なことで怒りっぽくなった
- 自分の失敗を人のせいにする
- 「このごろ様子が変わった」と周囲から言われた

☑ 不安感が強い

- ひとりになると
こわがったり
寂しがったりする
- 外出時持ち物を
何度も確かめる

☑ 意欲がなくなる

- 身だしなみを
かまわなくなった
- 趣味や好きな物に
興味を示さなくなった
- ふさぎ込みがちで
何をするのも嫌がる



認知症の人との接し方

家族や友人が、もしも認知症になったらどのように接すれば
良いでしょうか？日常生活の中で周りの人が本人の尊厳を損な
うことなく、不安感や焦燥感などの気持ちを受け止めて接する
ことで、自分らしく安心した毎日を過ごすことができます。

認知症の人との接し方のポイント

- * まずはさりげなく様子を見守り
- * 自然な笑顔で余裕を持って
- * 声をかけるときは相手の視野に入ってから
- * 相手と目線を合わせてやさしい口調で
おだやかにゆっくり、はっきりと
- * 急かさず相手の言葉に耳を傾けて接しましょう

まだまだ
続くよ



驚かせない

否定しない

急がせない

自尊心を
傷つけない

4 つの ない

※紙面に関するご意見、ご感想は、港南区社会福祉協議会まで



いつまでも地域で暮らせるように

日野地区の取組み「認知症サポーター養成講座」にお邪魔しました(*°▽°)/



12月6日(土)、日野南町内会館で日野南町内会福祉ネットワーク・日野地区民生委員児童委員協議会・日野地区社会福祉協議会・日野南地域ケアプラザ共催による認知症に関する講座が開かれました。『認知症サポーター養成講座』と『認知症予防講座』を合体させた新たな試みです。

この日の受講者は42名、会場は満席状態です。

サポーター養成講座は地域住民に認知症の理解を促し、支援の輪を広げることが目的。認知症キャラバン・メイトとして講師を務める小林伸さんは「認知症は誰もがなりうる病気、自分だけではないなんて大間違い」「人間の脳は20歳をピークに老化していく」「脳にタンパク質のカスがたまっていく」等、テンポ良い掛け合いで見る人を飽きさせません。認知症の人との接し方を伝える寸劇は迫力ある熱演で更に受講者を引き込んでいきます。



脳は20歳をピークに老化していき、タンパク質のカスがたまっていくんです



予防講座として「認知症になりにくい生活」の講義、「脳の血流を良くする運動」として実際にストレッチ運動を行います。頭も体も使う参加型のこの講座は、これまで自治会・町内会や小中学校で繰り返し開催された経験・実績の結晶です。地域の認知症サポーターの皆さんが講座を重ねる度に、より地域にサポーターの輪を広げようと創意工夫し、これからも一層の進化を図るそうです。

日野地区民生委員・児童委員協議会から地域の小中学校に呼びかけ、サポーター養成講座を行っています。講座を受けた小学生が認知症の方を助けた、といった嬉しい報告もあったそうです。地域の中で次世代の人材を育て、認知症の人やその家族にも安心な暮らしを。港南区では今日も地域で取り組んでいます。

認知症サポーターって？

厚生労働省は“認知症になっても安心して暮らせるまちになること”を目指し、「認知症サポーター」を全国で養成する取り組みを2005年からはじめました。

「認知症サポーター」になるためには「認知症サポーター養成講座」を受講します。講座は研修を受けた地域の方(「キャラバン・メイト」と呼ばれます)が講師となり、地域包括支援センター(地域ケアプラザ)や社会福祉協議会などと協力し、自治会町内会や小・中・高等学校などで開催しています。

認知症サポーターは、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者です。

例えば…

- ・認知症かなと思われる人や家族が困っていたら声をかける
- ・友人や家族にその知識を伝える
- ・認知症になった人や家族の気持ちを理解するよう努める
- ・隣人あるいは商店・交通機関等、できる範囲で手助けをする

など、自分にできることを身近なところから考え、実践していきます。1人でも多くの認知症サポーターが増えることで、認知症への地域理解も深まるとともに、見守り・支え合いの輪が広がり、「認知症になっても暮らしやすいまちづくり」につながります。



認知症サポーターの証「オレンジリング」



こんなところにも気軽に相談できるよ！

地域包括支援センター

港南区内では8か所の地域ケアプラザと特別養護老人ホーム芙蓉苑の中に介護保険サービスなどを利用する為の様々な支援を行う地域包括支援センターがあります。気になることがあったらお近くの地域ケアプラザ、芙蓉苑に気軽にご相談ください。

〈受付時間〉 ■月～土 9:00～21:00 ■日・祝 9:00～17:00

港南台地域包括支援センター ☎834-3141	東永谷地域包括支援センター ☎826-1097
港南中央地域包括支援センター ☎845-4100	日下地域包括支援センター ☎843-3555
下永谷地域包括支援センター ☎826-2658	日野南地域包括支援センター ☎836-1801
野庭地域包括支援センター ☎848-0111	芹が谷地域包括支援センター ☎828-5181

〈受付時間〉 ■月～土・祝 9:00～17:45 地域包括支援センター芙蓉苑 ☎822-3471

はいかい認知症高齢者等 SOS ネットワーク



利用するには 港南区役所(☎847-8415)や地域包括支援センターで事前登録(無料)が必要です。登録時には①印鑑 ②写真(顔と全身写真各1枚)が必要です。

公益社団法人 認知症の人と家族の会神奈川県支部

家族同士の交流ができ、介護の先輩から助言や、治療や薬、ケアのことなど専門家の話を聞くことができます。介護経験者の相談員による電話相談も実施しています。

よこはま認知症コールセンター
(火・木・金 10時～16時) ☎045-662-7833

かながわ認知症コールセンター
(月・水 10時～20時、土 10時～16時) ☎0570-0-78674

日本司法支援センター 法テラス

法テラスは国によって設立された法的トラブル解決のための総合案内所です。「借金」「離婚」「相続」…さまざまな法的トラブルを抱えてしまったとき、「だれに相談すればいいの?」、「どんな解決方法があるの?」と、わからないことも多いはず。

こうした問題解決への「道案内」をしてくれるのが法テラスです。

法テラス神奈川 (月～金 9時～17時) ☎0503383-5360

サポートダイヤル (月～金 9時～21時、土 9時～17時) ☎0570-078374